

長浜キャノンの健康経営

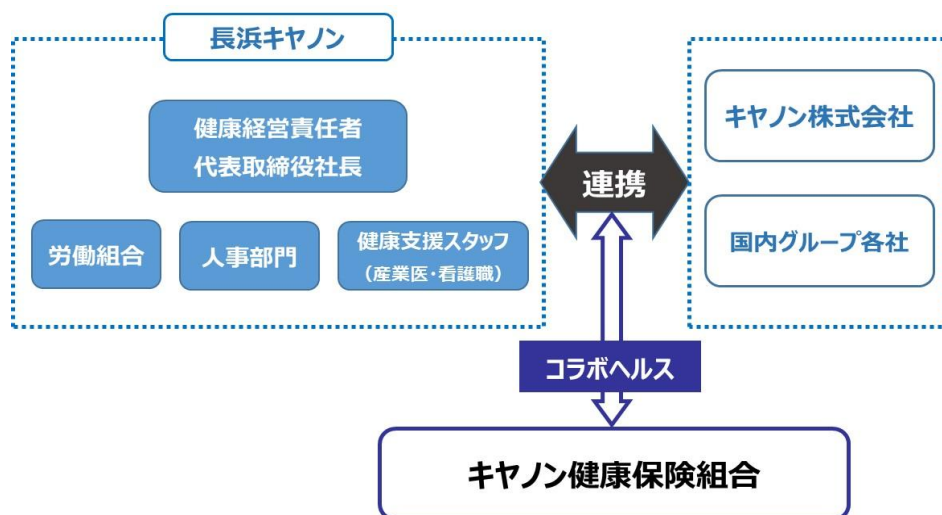
長浜キャノンでは、「社員が健全かつ元気であること」をスローガンに、積極的に従業員の健康づくりや、安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。創業当時から受け継がれてきた行動指針である「健康第一主義」のもと、自発・自治・自覚の「三自の精神」に基づく社員の高い意識と行動で、健康経営の実現に向けた取り組みを推進することが企業の成長につながると考えています。

健康経営宣言

- 1.生活習慣病を防ぐため、健康診断結果を活用した取組みを推進します。
- 2.労働災害を防止するため、安全健康教育や体力づくり活動に努めます。
- 3.治療中でも安心して働けるよう、職場環境整備を推進します。

健康経営体制

長浜キャノンの健康経営体制は代表取締役社長を健康経営責任者として、キャノングループ各社およびキャノン健康保険組合と連携を取りながら、様々な健康経営施策に取り組んでいます。



健康経営戦略

戦略マップ

作成年月：2025年9月



主な取り組み

- ・メンタルヘルス対策
- ・生活習慣病対策
- ・ヘルスリテラシーの向上
- ・女性の健康課題に関する施策／ピンクリボン活動
- ・仕事と育児や介護の両立支援
- ・感染症対策
- ・運動習慣作りの取り組み
- ・地域との連携
- ・サプライチェーンの取り組み

施策

メンタルヘルス対策

- ・ストレスチェックを活用した支援
- ・管理職研修
- ・労働生産性の評価・活用

メンタルヘルスカを健康管理の重要課題と位置づけ、社員の心の健康維持による健全な職場づくりを進めています。ストレスチェックは受検率95%以上を目標とし、社員一人ひとりのセルフケアに活用したり、高ストレス者に対しては医師面接や健康相談対応をおこなっています。メンタルヘルスに関する研修・教育については、産業医・健康支援室スタッフによる座学やe-learningにより階層別（役職者、新入社員、入社2年目）の研修を実施しています。そのほかにも、休職者に対する「職場復帰支援プログラム」や社内外相談窓口を設置するなど、社員の心のケアを様々な側面から支援できるようにしています。

項目	目標	2022年	2023年	2024年	2025年
ストレスチェック受検率	95%以上	96.0%	93.2%	97.3%	99.5%
高ストレス率	10%以下	19.6%	19.6%	17.3%	16.1%

生活習慣病予防

- ・ キヤングループ健康行動8項目『CHANGE8』の推進
- ・ 健診事後措置の徹底
- ・ 特定保健指導の徹底

キヤングループ健康行動8項目『CHANGE8（Canon Health Action Goals 8）』

※健康増進を進めるうえでキーとなる「8つの健康行動目標」を、身近で親しみやすくするために作成したキャッチフレーズ
実践項目数が多い人ほど、仕事力を発揮できていると回答する人が多い傾向にあります。

1 ころろ  自分にあった方法で リラックス&リフレッシュ	2 がん  毎年受けよう がん検診	3 運動  今より速く 目指そう1日8000歩	4 食事  毎日朝食 食事はゆっくり味わって
5 体重  目指そう標準体重 こまめに乗ろう体重計	6 睡眠  環境を整え毎日 すっきり良い睡眠	7 飲酒  お酒は適量 休肝日を作ろう	8 禁煙  タバコの煙を 避けよう

健康診断事後措置の実施

健康診断の結果、ハイリスク者には受診勧奨とその後の受診状況の確認を行い、未受診者に対しては産業医や健康支援スタッフから直接保健指導をおこなっています。また、産業医との面談で就業制限措置の検討を実施し、重症化予防に取り組んでいます。

特定保健指導

特定健診指導対象者には、健康保険組合と連携し、業務委託した専門家による保健指導を実施しています。就業時間中に面談の機会を設け、保健指導の受けやすい環境づくりをしています。ほかにも、法定の健康診断項目以外に独自の項目を追加し、生活習慣病の早期発見・早期対応、事後フォローをおこなっています。

生活習慣病対策イベント

<禁煙>

長浜キヤノンでは2015年から敷地内全面禁煙となりました。喫煙者に対しては、キヤノン健康保険組合と連携し無料で禁煙外来を受診できる「禁煙プログラム」を提供しています。また、世界禁煙デーに合わせて禁煙キャンペーンを実施しています。

<歯科>

長浜市の歯科衛生士による歯科講座を開講しました。講座では口腔衛生と生活習慣病との関連や、モデルを使った正しいブラッシング方法などわかりやすく説明していただき、従業員の歯科に対する意識の向上を行っています。また、社員はキヤノン健康保険組合契約の歯科健診を無料で利用することができます。



項目	目標	2022年	2023年	2024年	2025年
定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%	100%
精密検査受診率	100%	65.1%	100%	92.9%	100%
ハイリスク者の管理率	100%	100%	100%	100%	100%
血圧リスク者率 ※収縮期血圧180mmHg以上または 収縮期血圧110mmHg以上の人の割合	-	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
血糖リスクと考えられる人の割合 ※空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合	-	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%
糖尿病管理不良者率 ※HbA1cが8.0%以上の人の割合	-	0.8%	0.9%	1.2%	0.6%

項目	目標	2022年	2023年	2024年
特定保健指導実施率	90%以上	91.5%	93.2%	92.9%

項目	目標	2022年	2023年	2024年	2025年
適正体重維持者	80%	69.6%	68.9%	69.0%	69.0%
運動習慣のある者 ※週に2回、1回あたり30分以上の運動を実施している	40%	20.4%	21.0%	22.0%	20.3%
睡眠により十分な休養が取れている者	80%	55.7%	56.0%	55.9%	54.8%

ヘルスリテラシーの向上

- ・年代別教育
- ・がん検診受診促進
- ・両立支援の強化

長浜キヤノンでは年代別の健康課題に対して、e-learningや冊子など様々なコンテンツを用意し、世代特有の健康課題の認識と自身の健康状態を振り返る機会を設けています。振り返りで得た情報は自身の健康増進や疾病予防に活用するヘルスリテラシーの考えを安全衛生方針の中に盛り込み、全社的な重点課題として取り組んでいます。

また、キヤノン健康保険組合と連携し「がん検診制度」を提供しています。「がん検診制度」は、国が推奨する5大がん検診の他にも脳・心臓疾患のコースや、20歳以上の女性を対象とした子宮頸がん検診も設定するなど、がんの早期発見による予防対策をおこなっています。安全衛生委員会ではがん検診の受診率報告や受診勧奨、がんに関する教育を実施したり、がん検診受診率向上の取り組みとして健診機関のご協力のもと「がん検診予約会」を開催し、社員のがんの早期発見・予防に取り組んでいます。



ほかにも、傷病者に対しては治療と仕事の両立支援に向けて、健康支援スタッフが「両立支援コーディネーター」資格を取得し、個人の希望に合わせて積極的に復職時のサポートをおこなっています。

女性の健康課題に関する施策

女性特有のからだの不調や悩み、妊娠や出産、そして更年期障害と年代に応じた課題・女性のからの仕組みを知り、さらに女性が活躍できる職場を目指すための機会として、産業医による「女性懇談会」を開催しています。実施後のアンケートでは参加者のほとんどが「満足」と回答し、長浜キヤノンの産業医は女性であることから、懇談会テーマ以外にも気軽に相談ができ、普段ほとんど話す機会のない医師といろいろなことを話すことができたとの意見も多く、大変好評なイベントとなっています。

ピンクリボン活動

長浜キヤノンではピンクリボンデーにあわせて10月をピンクリボン月間と位置づけ、すべての女性従業員への啓発品の配布や、乳がん触診モデルの展示、正面玄関のガーデンライトをピンクに装飾するなど、女性がんに対する健診の啓発を積極的におこなっています。



項目	目標	2022年	2023年	2024年	2025年
喫煙率	12%	28.9%	28.3%	28.3%	26.7%
がん検診受診率（40歳以上）	75%	59.3%	61.1%	57.1%	62.2%

※ 各年度の集計期間は4月～翌年3月

両立支援の取組み

長浜キヤノンでは、社員一人ひとりが安心して働き続けられる職場環境を大切にしています。育児や介護と仕事の両立に関する悩みを気軽に相談できる窓口を設け、必要な情報を積極的に提供しています。勤務時間の調整など、柔軟に働ける選択肢を増やし、育児／介護をしながら働く社員が安心して業務続けられるよう、社内での理解促進を図り、チームで支え合う風土の醸成をしています。

人生の中で、育児や家族の介護が必要となる時期は誰にでも訪れる可能性があり、そのような状況においても仕事と両立できるよう、会社としてしっかりとサポートしていきます。

感染症対策

感染症防止と生産性向上を目指した取組みを展開しています。新型コロナの流行を機に構内にアルコール製剤を設置し、日常的な手指消毒を奨励しています。新型コロナの5類移行後も、特に食事前の手洗いを強く奨励し、感染予防の啓発をおこなっています。

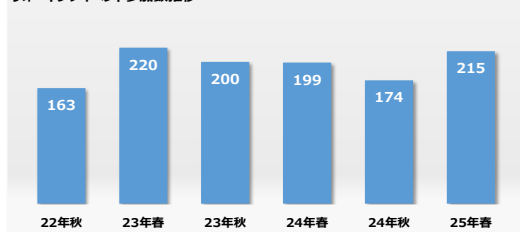
また、社内でインフルエンザ予防接種を実施することで、社員の感染症対策のサポートもおこなっています。海外出張や赴任者に対しては、必要な予防接種が受けられるように体制を整えています。

運動習慣づくりの取り組み

キヤノン健康保険組合が年に2回開催するウォーキングイベントでは、「歩く」だけでなく、家事、スポーツ、子供との遊びなど様々な活動を健康保険組合独自の歩数換算表で数値化するなど、より楽しみながら参加できるイベントとなっています。長浜キヤノンでは社内のチーム対抗戦も企画するなど、独自のインセンティブを設けてより参加しやすい条件を整えることで、社員の運動習慣のきっかけづくりに役立てています。

また、キヤノン体操や構内体育施設（グラウンド、体育館、テニスコート）の無料利用、外部スポーツジムの利用補助など、運動する機会の提供をおこなっています。構内の体育館に設置しているスポーツジムでは社員有志がトレーニングプログラムを作成し、社員同士が褒め合いながら体力づくり、筋力アップにつなげられる場所として、社員間のコミュニケーションの活性化にもつながっています。

ウォーキングイベント参加数推移



その他のデータ

①労働時間と休暇取得状況の変化

項目	2022年	2023年	2024年	2025年
平均月間総実労働時間	156時間	154時間	153時間	155時間
平均月間所定外労働時間	8時間	6時間	9時間	8時間
平均年次慰労休暇取得日数	17.7日	18.5日	17.8日	15.5日
平均年次慰労休暇取得率	91.0%	94.3%	90.4%	89.2%

②離職率

項目	2022年	2023年	2024年	2025年
離職率	2.9%	2.7%	1.9%	1.8%

③保健事業費

項目	2022年	2023年	2024年
保健事業費（1人当たり・円）	23,582	23,967	23,419

④生産性や組織の活性度

項目	目標	2022年	2023年	2024年	2025年
	測定人数 回答率	1,073人 100%	1,051人 100%	1,048人 100%	1,050人 100%
アブゼンティズム※1	2.7日	2.7日	3.7日	3.7日	4.4日
プレゼンティズム※2	13.0%	14.4%	14.4%	14.0%	15.0%
ワークエンゲイジメント※3	2.7点	2.2点	2.2点	2.6点	2.7点

※1：昨年1年間に、自分の病気やけがで何日程度仕事を休んだか聴取し平均を算出

※2：SPQ（東大1項目）版の平均値

病気やけががないときに、発揮できる仕事の出来を100%－過去4週間の自身の仕事の評価（%）

※3：健康診断の問診票よりUWES超短縮版3項目（活力・熱意・没頭）への回答の平均

（いつも感じる：6点、とてもよく感じる5点、よく感じる4点、時々感じる3点、めったに感じない2点、ほとんど感じない1点、全く感じない0点）

各種健康情報の発信

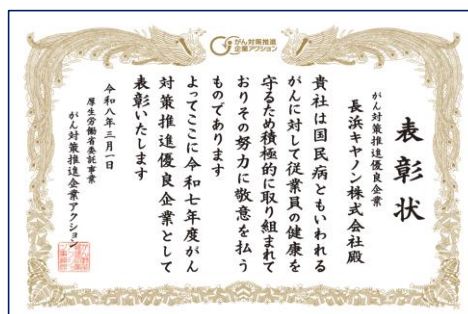
長浜キヤノンでは社内ポータルサイト、社員通用口モニター、掲示板、リーフレット、社内報などの様々な媒体や安全衛生委員会などを通じて、社員に健康情報を発信しています。四半期ごとに発行される社内報では、社員のみなならず社員の家族にも健康情報を発信しています。

健康経営

長浜キヤノンは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）ホワイト500」に選定されました。「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。



長浜キヤノンはがん対策推進企業アクション 推進パートナー企業として登録し、最新の情報を社内に提供できるよう努めています。また、がん対策への取り組み（従業員へのがん教育）が高く認められ、がん対策推進優良企業として選出されました。



スポーツエールカンパニー

長浜キヤノンはスポーツ庁が認めるスポーツエールカンパニー2026に認定されました。「スポーツエールカンパニー2026」は、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取組を行っている企業をスポーツ庁が認定する制度です。スポーツを楽しむ社員が増え、健康的で生き活きた毎日が送れることを目指して、長浜キヤノンはスポーツ実施率の向上に取り組んでいます。始業前のキヤノン体操の実施や、構内のスポーツジム施設の利用促進、社内健康アプリの活用による年2回のウォーキングイベント、球技大会などを実施しています。キヤノンイーグルスの応援イベントも定期的に開催し、スポーツを観る楽しみの醸成にも取り組んでいます。



地域連携推進活動

湖北健康福祉事務所（長浜保健所）が実施主体となる「湖北圏域地域・職域連携推進会議」「湖北地域糖尿病医療連携推進会議」「長浜市健康づくり推進協議会心の健康専門部会」といった、地域の官民が共同で推進している会議の委員として、地域の健康課題についての検討や健康づくりに関する社会資源の情報交換・有効活用などの活動に参画しています。当委員会は長浜キャノンを含めた地元企業のほか、医師会、栄養士会、地域産業保健センター、商工会議所、労働基準監督署、長浜・米原市役所などで構成されています。

サプライチェーンにおける取組

キャノングループでは、サプライチェーンにおけるCSRの向上を目的に、労働安全衛生に関するリスク対応を含めたRBA行動規範をCSR調達方針として採用し、「キャノンサプライヤー行動規範」を策定して調達活動に展開しています。また、企業理念の「共生」のもと、直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体で取引先や地域の皆様とのよりよい社会の実現に貢献することを目指しています。構内で共に働く協力会社との間では構内協力会社安全衛生連絡協議会を通じて健康経営の取り組みを紹介するなど健康情報の共有や意見交換を行っています。